

中学校体育における

学習者の競技志向の素朴概念ほぐし

—球技・ネット型授業より—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 造形・創造科学系（保健体育）

木野村祐也

中学校体育において、学習前から存在する学習者の競技志向の素朴概念のほぐしによって、生涯スポーツの実現に向けた、体育の見方・考え方を多様化することができないだろうか。本研究の素朴概念とは、学習者が日常生活や遊びの場で経験的に獲得した知識とし、中学1年生を対象とする。競技の技術に関する素朴概念の研究はあるが、競技志向といった運動の捉え方に関する素朴概念の詳しい研究例はない。

そこで本研究では、学習者の競技志向の素朴概念をほぐし、体育の見方・考え方を多様化することを試みた。球技・ネット型において、授業者発案のオリジナルゲームの実施と学習者によるルールのアレンジ、アレンジされたゲームでの交流を実践した。競技志向の素朴概念ほぐしによって、新たに創造志向や再創造志向といった運動の捉え方の獲得が見られた。アレンジされたゲームを通して、他者と交流するほど、体育の見方・考え方が多様化した。今後は、他の単元での競技志向の素朴概念ほぐしの検討が望まれる。